Nom. Jap. Takao-fûro, nov.

Hab. Hondo: Mt. Takao, Prov. Musashi (T. Makino, Oct., 1910—in Makino Herbarium). New to the flora of Japan. Distr. China, Formosa and Japan.

var. **yezoense** Hiyama, var. nov.

Folia subtus tota pilis brevibus adpressis sparsim pubescentia. Centra ut in typo.—Nom. Jap. Yezo-mitsubafûro, nov.

Hab. Yezo: Asahigawa, Prov. Ishikari (T. Makino, Sept., 1908—type in Makino Herbarium). Endemic to Yezo.

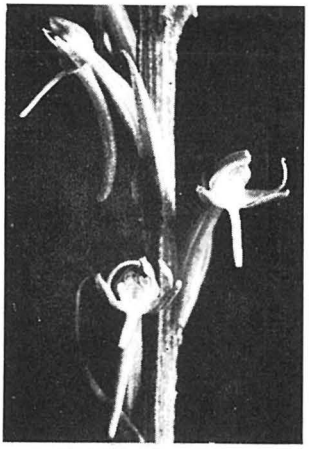
var. **Wilfordi** forma **bukoense** Hiyama, nov. f.

Caulis petiolusque pilis 1-2mm longis patentibus pilosus.—Nom. Jap. Buko-mitsubafûro, nov.

Hab. Hondo: Mt. Buko, Prov. Musashi (S. Okuyama—type in Herb. Nat. Sci. Mus. Tokyo, #60036).

○イヨトンボの新産地 (榎本一郎・山崎 敬) Ichiro ENOMOTO & Takasi YAMAZAKI: A new locality of *Peristylus iyoensis*

イヨトンボは四国，九州から知られているが，現地でも個体数の少ない，稀品にぞくす種類である。榎本は 1961 年 8 月 8 日に千葉県君津郡鋸舞で，ロゼット状の葉が，丁度ノギランとショウジョウバカマの中間のような形で，ラン科植物の根をもったものを発見した。花は咲いていなかったが，イヨトンボに似ているので，栽培開花させたところ，細く 3 裂する唇弁の特徴から，イヨトンボであることを確かめることができた。生育地は谷津にある田のわきの崖の湿った場所である。わずかの面積に 5～6 株しかみつからなかったので，絶滅する恐れがある。今まで知られている産地は次のようである。長崎市外喜々津村，愛媛県喜多郡立川村，徳島県名西郡神領村，淡路島育波村。千葉県は以上の産地とかなりはなれているが，途中の東海地方あたりにみいだされるのではないかと思う。



Peristylus iyoensis. ×1.5.

(東京都中野区[redacted]; 東京大学理学部植物学教室)